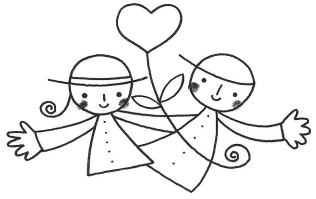


威圧的な街宣は 民主主義ではありません



市民の心配の声を申し入れる

自衛隊イベント、花火大会航空ショー

八月にエルミここのすショッピングモールで計画されていた自衛隊イベントについて、日本共産党や市民の皆さんで中止を申し入れました。ショッピングモールと自衛隊は市民の声を受け、イベントを中止しました。

十月のこのす花火大会における航空ショーについても、日本共産党と市民の皆さんと共同で、航空ショーに対する市民の不安の声を届け、中止を申し入れています。

右翼団体が大規模街頭宣伝の動き

2日

これらの行動に対して、日本共産党の事務所や議員のもとに、恫喝的な言動が来ています。

二日昼頃には、ひばり野・中央地域で右翼団体が、多数の街宣車を使つての大規模な街頭宣伝を計画しています。

意見の違いは言論で



他人・団体の意見に反対したり、自分たちの主張を宣伝したりすることは、憲法で認められた権利です。しかし、今回計画されている右翼の行動は、威圧的な街頭宣伝によって、意見の異なる相手を攻撃するものです。

「他人の意見への反論は、平和的な言論で」、これが民主主義の原則です。威圧的な宣伝は、民主主義に反する暴挙ではないでしょうか。

「暴挙許さない」の声

びびっしょよに上げましよう

日本共産党鴻巣市議団は一日、地域住民の安全を守るため、しっかり対応してほしいと鴻巣警察署に申し入れました。

「民主主義をこわす暴挙は許さない」の声を、みなさんからもぜひ上げてください。



このす民報

2018年9月号外

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します

日本共産党鴻巣市議団

竹田えつ子

すわみつえ